

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152
メール info@takaoka-hongwanji.jp

▽第四十三回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

高岡教区団体参拝

九月十八日、第四十三回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要の高岡教区団体参拝が行われ、現地参加者三名を含む八名が法要に参拝した。二〇二〇年から二〇二二年までは新型コロナウイルス感染症への感染対策として、参拝者を限定しての開催であったが、今年度は三年ぶりに各教区へ団体参拝を募集して開催された。

千鳥ヶ淵墓苑の管理団体の方針が変わり、従来のような全面貸し切りではなく、他の参拝者も入場できるように従来よりも規模が縮小された形となり、東京教区を含む教区の団体参拝となり、全体で四百名程度の参拝であった



た。高岡教区からは参拝や現状の確認のためヤスクニ問題専門委員会を中心に参加した。

法要は厳かな雰囲気の中、宗門関係学校生徒作文の朗読と表

彰、平和の鐘と進み、東京教区の西原祐治さんの法話があり、追悼法要へと進んだ。法要後参拝者全員が焼香され終了した。

法要に来ていた宗派職員からは、「今後に向けた検証をしていくが、従来通りの規模で行っていきたい」という声はあったものの、次年度以降の具体的な計画は決まっていないとのことであった。高岡教区からの参拝者からは、コロナ前に行っていた従来規模の法要が勤まってほしいという声が聞かれた。



☆第十二回中部・北陸仏教婦人会大会参加

去る九月二十七日(水)第十二回中部・北陸仏教婦人会大会が、岐阜教区担当で開催された。本大会は二年ごとの開催で、前回は二〇二〇年度に石川教区担当で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症パンデミックの為、開催準備はなされたが、とうとう開催できなかったもので、今回が久しぶりの開催となった。

高岡教区では、執行部で大会参加の日程を協議し、この度は「日帰り研修旅行」と「一泊研修旅行」の二通りの行程とし、七月より参加者を募集した。

「日帰り研修旅行」へ参加の方は三十二名、「一泊研修旅行」へ参加の方は三十八名、第十二回中部・北陸仏教婦人会大会へは総勢七十名が参加をされた。

大会は、『お念仏を伝えよう、私からあなたへ』をテーマに富山教区・高岡教区・石川教区・岐阜教区・東海教区の参加者約千四百人が集まり、午後一時から御門主さまご臨席のも



と、開会式が挙行された。

そして、アトラクションは、舞楽「陵王」が、僧侶、門信徒を問わず雅楽愛好家が集う岐阜香光雅楽会により披露された。記念公演は、荻隆宣師(山口教区大津東組浄土寺住職)により、講題『いのち恵まれ育まれ』と題し、ご自身でされている「子ども食堂」を中心にお話をされた。

閉会式では、次期開催教区である福井教区の委員長から「また二年後に福井で元気な姿でお会いしましょう」とご挨拶をされ、参加者全員で恩徳讃を唱和し、大会は終了した。

高岡教区からの「日帰り研修旅行」の参加者は大会終了後すぐに帰路につき、「二泊研修旅行」の参加者は岐阜で一泊し、翌二十八日は岐阜別院を参拝し、関善光寺、関刃物ミュージアムに立ち寄りながら帰路につき、日帰り・一泊の研修旅行ともに大きなトラブルもなく無事に終えることができた。

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の北鹿渡までご連絡ください。

○法語カレンダー 150円

○ほのぼのカレンダー 150円

○月々のことば 1000円

○心に響くことば 140円

★御同朋の社会をめざす運動のコーナー

二〇二十三年度 高岡教区「御同朋の社会をめざす運動」

人権啓発推進僧侶研修会報告

九月八日・九日・二十一日の全三回にわたって本年度の僧侶研修会が開催されました。昨年度までは、『み教えと差別の現実』を用いて、経典内の様々な差別用語・問題について、数年にわたって研修していましたが、本年度からはテーマを新に「感染症・ハンセン病と差別問題」として、『ハンセン病差別と向き合う―本願寺教団の歩みと課題―』をテキストに用いて、同和教育振興会より派遣講師として、九日に中島清志さん（長野教区）八日・二十一日に久林高信さん（奈良教区）をお迎えして研修を行いました。

今回の研修ではまず、ハンセン病問題・差別について以前に研修等を受けたりして、知識が元々ある方、聞いたことはあるがよく分からないという方など、経験や年齢によってハンセン病についての認識が様々であるので、ハンセン病の歴史から現在までを、テキストと御講師がテキストに沿ってまとめてくださったレジュメを併用して講義が進められました。

講義の中で、ハンセン病差別が始まったのは日本の近代明治維新以降の富国強兵策などの国が執った隔離政策によるところが大きく、日本における差別的なハンセン病観の形成に重大な影響を与えたとありました。近代日本のハンセン病に対する方針は、患者の保護と治療よりも、収容施設での終生隔離を目的とした取り締まりという観点のもと定められました。終生隔離に関しては、各ハンセン病療養所内で、①絶対隔離（症状の有無、重い軽いに関わらず家族の同意の有無に関係無く、全ての患者を隔離）②完全隔離（私たちの日常生活からかけ離れた僻地への隔離）③絶滅政策（患者の家族を形成する事への制限、強制墮胎などで子孫を残さない）④治外法権（療養所所長に懲戒検束権が付与され、療養所内の罰則・権限が強化されたために、療養施設ではなく強制収容施設としての性格が顕著になる）があり、ハンセン病患者の方たちの人権が著しく侵害されました。また、現在の新型コロナウイルスによる一時隔離や

入院と比較し、新型コロナウイルスは、他人に感染する恐れが無いと証明されれば、療養施設を出所できるが、ハンセン病療養所は終生隔離であるので、らい予防法改正まで出所する事はできなかったとされました。

また、その療養所と本願寺教団の関わりについては、早くから療養所での布教を行っていました。その布教は「慰問布教」と言われ、その布教では「療養所に留まることが社会のためになる」と、終生隔離政策を入所者自身が納得し、受け入れさせるための役割を担ってきました。そして、入所者たちに隔離は「宿命」と諦めさせ、終生隔離政策を支える社会を正当化するような布教をしていきました。その内容としては、入所者にハンセン病が発症したのは前世の業、宿業であるとして、あきらめと療養所で生活できることの感謝と来世の救いを説き、現在の境遇や苦しみをあきらめさせました。それらは本来の浄土真宗のみ教えとは明らかに異なります。人々の苦しみよりも、国の体制や方針を優先していたその体質や教えの受け止めが問われたことだと思えます。本来の宗教の役割は、療養所入所者の方々と、その喜怒哀楽を共有して、そこでの問題を国の体制、社会に問わなければなりません。しかし私たちの本願寺教団は、長年それはできませんでした。だからこそ、現在を生きる私たちが、この反省を基に「ハンセン病問題」について学びを深めることが大切であると思えます。

ハンセン病家族訴訟原告団長の林力さんの講演の中で、「宗教家というのは、神とか仏とかを背にして、人の前にお立ちになるかたで（中略）先生方の場合には仏様と親鸞聖人を背にして人の前のお立ちになる方だけに恐ろしいことだと思えます。人の前に立つ、人にものを説く、教えるということを日常的にやっていると、すぐのぼせるんですね。そして、威張るんですね。権威主義になる。観念的で、見ていないことを見たようにいつてしまう。人のしたことを自分のしたようにいつてしまう」（テキスト二十五ページ）と指摘されています。この指摘をわたしたち一人ひとりが、自分のことと受け止めて、ハンセン病問題をはじめ、社会の諸問題に取り組みなければならぬと思えます。

【同朋運動企画専門委員会委員 耳浦康真】

◇これからの日程（10/14～11/28）◇

| 10月 | 教区・財団行事 | 教化団体・組行事 |
|-----|----------------|---------------|
| 14 | 常例法座 | |
| 17 | | ビハーラ代表者会議 web |
| 20 | 聖典セミナー | |
| 25 | | 寺青役員会 |
| 31 | 教学研究室 | |
| 11月 | | |
| 14 | 常例法座 | |
| 16 | | 仏婦執行部会 |
| 20 | 聖典セミナー | |
| 26 | | 仏壯勝興寺参拝・研修会 |
| 27 | 親鸞聖人を語る夕べ | |
| 28 | 会館報恩講 教学研究室 | |

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●11月12日（日）

富山教区布教使（未定）

（富山教区）

●11月26日（日）

富山教区布教使（未定）

（富山教区）

※西本願寺が主催し、北日本放送（KNB）にて放送してまいりました毎週土曜日午前5時35分からの『西本願寺の時間』は、2022年9月末をもって放送終了となりました。

また、高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送（KNB）にて放送しております毎週日曜日午前6時からの『西本願寺の時間』は、今後も放送いたします。

西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおりです。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel.(050) 5587-7708(代表)

※教務所に在庫はありません。ご注意ください。

【西本願寺高岡会館11月の常例法座】

ご講師：岡 西 法 英 氏

（高岡教区五位組教願寺）

ご講題：『正信偈の大意』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。